

World Music Course Winter Concert

2020年12月5日(土) 15:00 開演 洗足学園音楽大学シルバーマウンテン2階

【第1部】

| | |
|------------------------------|--|
| A.C. ミゲル / シリウスへの帰還 | マンドリン 小長井翼 キター 小林愛美 |
| 霍尊 / 卷珠帘 | 二胡 楊江虎 キター 小林愛美 |
| N. パガニーニ / ソナタ・コンチェルタータ | マンドリン 島田龍輔 キター 小林愛美 |
| H. パウマン / ソナタ・カプリッチョーザ | マンドリン 島田龍輔 キター 石川菜々子 |
| A. ヨーク / 三千院 | キター 小林愛美 石川菜々子 |
| F. シューベルト (中根康美編曲) / セレナーデ | バンドネオン 片山柊 マンドリン 小長井翼 島田龍輔 二胡 楊江虎 キター 小林愛美 石川菜々子 中根康美 |
| A. ピアソラ (片山柊編曲) / ブエノスアイレスの春 | バンドネオン 片山柊 マンドリン 小長井翼 島田龍輔 キター 小林愛美 石川菜々子 中根康美 二胡 楊江虎 ピアノ 山田武彦 |

【第2部 南米音楽の律動】

| | |
|-------------------------------|---|
| D. アロミア=ロブレス / El Cóndor Pasa | ケーナ 山下 Topo 洋平 |
| G. ロハス / Maraca Mateo | マンドリン 小長井翼 二胡 楊江虎 キター 石川菜々子 山下 Topo 洋平 |
| N. オルモス / Rosa Carmin | マンドリン 島田龍輔 キター 小林愛美 ケーナ 山下 Topo 洋平 |
| ボリビア伝承曲 / Carnaval Grande | マンドリン 小長井翼 キター 小林愛美 |
| J. ウイルセ / Kacharpari | マンドリン 小長井翼 島田龍輔 二胡 楊江虎 キター 小林愛美 石川菜々子 ケーナ 山下 Topo 洋平 |

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

A.C. ミゲル (1956~) / シリウスへの帰還 第1楽章 モデラート

ドイツのクラシックギター奏者 Michael Tröster が Alfonso Carlos Miguel 名義（作曲家としてのペンネーム）で作曲した三楽章構成の作品です。今回演奏する第一楽章は、マンドリンのトレモロとギターの壮大なテーマから始まり、減七の和音のミステリアスな響きから徐々に加速し冒険の始まりを彷彿とさせるような Allegretto gaio（陽気で快活な速さ）の部分に移行します。

霍尊 (フォ・スン 1990~) / 卷珠帘 (ジュアジュレン)

中国の古い歌謡の雰囲気印象深いこの曲は、エレガントで格調高く、メロディーは自然で滑らかで、且つモダンなポップミュージックの要素が組み込まれているため、曲全体がより機敏で活気に満ちています。作曲者の霍尊は中国の人気オーディション番組《中国好歌曲》2014年第一季で優勝した注目の男性シンガーです。

N. パガニーニ (1782~1840) / 協奏的ソナタ 第1楽章 アレグロ・スピリトーソ

ヴァイオリンの名手として知られるニコロ・パガニーニですがギターの商品も多く残しています。ヴァイオリンとギターの為に書かれたこの協奏的ソナタは二つの楽器が交互に対話するような形になっている作品。本日はヴァイオリンパートをマンドリンで演奏します。

H. パウマン (1925~2020) / ソナタ・カプリッチョーザ (奇想的ソナタ) 第1楽章 アレグロ

ドイツで活躍した作曲家・指揮者のヘルベルト・パウマンは、マンドリンのための作品も数多く残しています。トレスター夫妻(当時)のために献呈されたこの楽曲は、トレシージョ (3+3+2 のリズム) の多用や拍子の頻繁な変更などパウマンの特徴的な語法はそのままに、心地よく楽しげな作品に仕上がっており、彼の作品の中で頻繁に演奏される楽曲の一つです。

A. ヨーク (1958~) / 三千院

著名なギタリストであるアンドリュー・ヨークが京都の三千院を訪れた時のインスピレーションで作られた曲。「夢見るように、催眠状態にあるように」という指示が有ります。

F. シューベルト (1797~1828) / セレナーデ

シューベルトの没後に遺作としてまとめられた歌曲集「白鳥の歌」からの一曲。マンドリン、ギターを模したような伴奏が特徴の曲を、F. リスト(1811~1886)によるピアノ独奏版から編曲してみました。

A. ピアソラ (1921~1992) / ブエノスアイレスの春

タンゴ・バンドネオン奏者、作曲家として活躍したアストル・ピアソラの作品中、「ブエノスアイレスの四季」と題された4曲の中一曲で、1970年レジーナ劇場にて演奏された作品。もとは連作として書かれたものではなく、1962年舞台劇「金の垂れ髪」で演奏された「ブエノスアイレスの夏」から後に四部作が完成することになりました。今回は五重奏のスコアをコース全員で弾けるよう編曲してみました。

D. アロミア=ロブレス (Daniel Alomía Robles) / El Cóndor Pasa

「コンドルは飛んで行く」。1913年ペルー人作曲家ダニエル・アロミア=ロブレスが自身のサルスエラ（オペラ的一种）の序曲として作曲。曲は三部構成からなり、第一部「ヤラビ」、第二部「フォックス・インカイコ」、第三部「ワイニョ」、とリズムが変化していきます。1970年にアメリカのフォークデュオ、サイモン&ガーファンクルが第一部をカバーしたことで世界的に知られるようになりました。本日は第一部のヤラビと第三部のワイニョの部分をケーナで独奏します。

G. ロハス (Gilberto Rojas) / Maraca Mateo

ポリビアの作曲家ヒルベルト・ロハス作曲。3/4拍子と6/8拍子の複合リズム「カルナバル」で書かれています。カルナバルとはお祭りの意味（カーニバルのスペイン語）。タイトル「マラカ・マテオ」のマラカとは楽器の名前、マテオとは人名。お祭りで楽しく踊る様子が描かれています。

N. オルモス (Nestor Olmos) / Rosa Carmin

ポリビアの作曲家ネストル・オルモス作曲。スペインから入植した白人支配者層たちの社交の場で栄えたクリオージャ音楽から発展したリズム「クエカ」で書かれています。男女がペアになり白いハンカチを振りながら踊る舞曲で、現在でもポリビア、アルゼンチン、チリなどではお祭りやホームパーティーなどで庶民に楽しまれているポピュラーなリズムです。曲のタイトルは「真紅のバラ」という意味。

ポリビア伝承曲 / Carnaval Grande

Maraca Mateoと同じくポリビア低地熱帯地方のリズム「カルナバル」で書かれています。ポリビアにはアンデスの山岳地帯とアマゾン川の源流である熱帯の低地ジャングル地方があり、カルナバルは低地の熱帯地方のリズム。カルナバル以外にも南米には3/4拍子と6/8拍子の複合リズムが至る所に存在し、南米音楽の一つの特徴と言えるでしょう。タイトルは「大きなカーニバル」という意味。

J. ウイルセ (Jorge Huirse) / Kacharpari

ペルー人作曲家ホルヘ・ウイルセ作曲。リズムは「ワイニョ」。ワイニョはエクアドル、ペルー、ポリビア、チリ、アルゼンチンなどに広く普及しているアンデス地域一帯で最もポピュラーな舞曲であり、南米音楽を知る上で非常に重要なリズム。

スペインによる占領の前から原住民たちの間で親しまれていた土着のリズムで、現代でも庶民の生活に密着し、伝承曲からモダンな新しい音楽まで様々な楽曲が親しまれています。タイトルのカチャルパリとはアンデスの原住民ケチュア族の言葉で「別れ」の意味。

■プロフィール

中根康美（なかねやすみ）

ドイツ国立ケルン音大卒。東京国際ギターコンクール入賞。

文化庁の助成によるスクールコンサートや、NHK 教育テレビに出演するなど、ソロ、アンサンブル、歌曲伴奏など幅広いジャンルで活動。

CD「吉松隆 優しき玩具」を現代ギター社より、フルートの故田中潤一氏との「タンゴの歴史」をアルケミスタより、ケルンギターカルテット「耳に残るは君の歌声」「君住む街角」をコジマ録音より各リリース。GG 学院、洗足学園音楽大学講師。

山下 Topo 洋平（やましたようへい）

ケーナ奏者。さらにサンポーニャ、ギター、ヴォイスを自在に操り作曲作品も多数。

19歳でデビュー。南米に渡り、現地でライブやレコーディングに参加。日本においても様々な音楽家と共演、これまでに9枚のリーダーアルバム、2枚のDVDをリリース。アルバム『Tierra』でビクターよりメジャーデビュー。「単なる民族音楽という枠を超えた普遍的な魅力に満ちている」（CD ジャーナル・レビューより抜粋）、「南米の素朴な笛ケーナを様々な笛の美質をミックスした普遍的な楽器に変貌させる奏者」（管楽器専門誌「Pipers」より抜粋）と評されている。

2015年には自身のバンド「Tierra Cuatro」が南米ツアーに招聘され、現地の聴衆に熱狂的な称賛を受けた。

山田武彦（やまだたけひこ）

東京藝術大学大学院修了、パリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科首席卒。数多くの演奏者と共演、ソリストのパートナーとして常に絶大な信頼を得ている。またユニークな演奏会企画を立案および参加し各地にて好評を得る。

洗足学園音楽大学ワールドミュージックコース

2年 小長井翼（マンドリン専攻）

小林愛美（クラシックギター専攻）

1年 石川菜々子（クラシックギター専攻）

片山 柊（バンドネオン専攻）

島田龍輔（マンドリン専攻）

楊 江虎（二胡専攻）

ワールドミュージックコースウィンターコンサート

コンサート企画 アカデミックプロデューサー：大江千佳子

指導教員：中根康美 山下 Topo 洋平 山田武彦

アカデミックコーディネーター：田中良一